

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	せいもう 西毛森林計画区 (群馬県)		事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署												
完了後経過年数	5年		管理主体	関東森林管理局 群馬森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、群馬県西南部に位置する西毛森林計画区29,072haの国有林野を対象としている。</p> <p>当地域は、北部、西部、南部にかけて山系が連なり、東部は関東平野の一角を占めている。多野山地等の急峻な山岳地等には天然林が多く、森林生態系の保全が求められている一方、都市近郊林の森林にあっては、憩いの場の提供や水土保全機能の維持・保全等が期待されている。特に、上流域の森林は、その地域のみならず首都圏の重要な水がめの役割を果たしており、生活用水や農業用水の供給源としても重視されている。</p> <p>人工林の生育状況は全般的に良好であるが、人工林のうちニホンジカやツキノワグマによる食害、剥皮被害が発生している地域も多く、良質な木材の生産が困難な箇所についても国土保全、水源涵養機能の維持・向上のため健全な森林状態に誘導することが求められている。</p> <p>本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を、森林の重視すべき機能の区分に応じて適切に実施した。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>162ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,691ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.1km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>1,382,242千円</p>				森林整備	更新面積	162ha		保育面積	2,691ha	路網整備	開設延長	6.4km		改良延長	2.1km
森林整備	更新面積	162ha														
	保育面積	2,691ha														
路網整備	開設延長	6.4km														
	改良延長	2.1km														
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成27年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>8,421,751千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,839,052千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,822,873千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>1,418,886千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td colspan="3">2.98 (事業採択時 3.41)</td> </tr> </table>				総便益(B)	8,421,751千円	(事業採択時	4,839,052千円)	総費用(C)	2,822,873千円	(事業採択時	1,418,886千円)	分析結果(B/C)	2.98 (事業採択時 3.41)		
総便益(B)	8,421,751千円	(事業採択時	4,839,052千円)													
総費用(C)	2,822,873千円	(事業採択時	1,418,886千円)													
分析結果(B/C)	2.98 (事業採択時 3.41)															
② 事業効果の発現状況	<p>林道の開設を実施したことにより、森林整備実施地区までの到達時間の短縮や作業コストの縮減が図られた。</p> <p>また、事業の実施により適正に整備された森林が形成されたことで、間伐実施後の林分では平成26年2月の大雪においても、被害は最小限度に抑えられ、多くの箇所では雪害は見受けられなかった。</p>															

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備された路網は、群馬森林管理署において良好に維持、管理されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、森林のもつ木材生産機能や、水源の涵養、山地災害の防止、二酸化炭素吸収などの公益的機能が発揮されている。また、良好な森林環境を育むことで野生動植物のすみかとして役立ち、生物多様性の保全にも貢献している。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>平成に入ってから、ニホンジカによる獣害被害が目立ちはじめ、その後被害は拡大しており、近年では管内の人工林内に甚大な被害を与えている。</p> <p>森林・林業再生に向けた法整備が進む一方で、依然として木材価格の低迷、住宅着工戸数の減少がみられ林産業就労者人口は伸び悩んでいる状況にある。</p> <p>他方、群馬県でも平成26年度から「ぐんま緑の県民税」が導入され、森林の環境整備が進められ環境保全に対する県民の意識も醸成されつつある。森林整備へのボランティア参加者も増加傾向であり、地球温暖化防止対策として森林整備への期待は増している。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p> <p>地元の意見：</p>	<p>ニホンジカの生息密度が高くなる中で、森林整備と連動した被害対策の実施や効率的な捕獲手法の開発が急務である。</p> <p>林業労働者の増加が鈍い地域において、森林整備を担う事業体の確保や安定的かつ継続的な事業の確保が必要である。</p> <p>また、これまでの間伐中心とした森林整備から、偏った年齢配置の平準化や森林の若返りのための主伐・再造林が必要と考えるが、再造林にかかる獣害対策、苗木の需給状況等を把握しながら取り組むこととする。</p> <p>ぐんまけん (群馬県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林が適正に整備されたことにより、森林が有する多様な公益的機能の維持増進が図られたと認識している。 ・今後も、適正な森林整備を行うとともに、資源の循環利用の計画的な推進を図っていただきたい。 <p>あんなかし (安中市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業施行地は市内の水源地の中でも主要な上流部である地域であり、間伐を主体とした森林整備を実施したことにより、森林の持つ多面的機能の保全と、良好な森林の形成がなされたと思う。今後も適切な森林整備の施行と、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。 <p>うえのむら (上野村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当村では木質バイオマス循環利用に取り組んでおり、その原料となる木材の安定的な確保ができるよう、引き続き事業の継続をお願いしたい。 <p>とみおかし (富岡市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な森林整備の実施により、水源涵養等の公益的機能の維持増進が図られ、事業の成果が認められることを期待する。 <p>なんもくむら (南牧村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も森林整備を実施し、林業従事者の確保や益々増加する獣害の抑止等、良好な森林・林業の形成をお願いする。 <p>かんらまち (甘楽町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止を目的とした森林整備等が適切に実施され、良好な環境が整備されたと評価できる。今後は、保健・文化・教育的な利用の場の提供を視野に入れ、森林空間を活かした総合的な整備を期待する。

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果（案）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、水源の涵養や国土の保全、保健文化及び地球温暖化等の公益的機能を発揮させるとともに、林産物の供給により地域振興に寄与することを目的とした事業であり、事業の必要性が認められた。 ・ 効率性： 事業の実施に当たっては、現地の状況に応じた工種及び作業仕様を採用し、コスト削減に努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。 ・ 有効性： 当計画区の人工林率は県平均を上回り、県内有数の林業地となっていることを踏まえ、林産物の安定供給に資する路網の開設・改良を実施したことにより、森林整備実施箇所へのアクセスの向上、コスト削減が図られるとともに、これらの路網を活用した森林整備の実施により水源の涵養や国土の保全等の公益的機能の維持増進が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：群馬県

施行箇所：西毛森林計画区

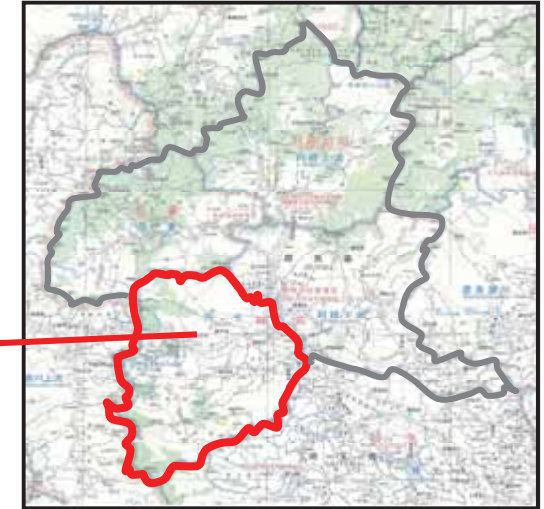
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,678,322	
	流域貯水便益	485,207	
	水質浄化便益	1,025,279	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,423,256	
環境保全便益	炭素固定便益	908,037	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	437,112	
	木材利用増進便益	19,846	
	木材生産確保・増進便益	1,179,641	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,853	
	森林整備促進便益	262,198	
総 便 益 (B)		8,421,751	
総 費 用 (C)		2,822,873	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{8,421,751}{2,822,873} = 2.98$		

森林環境保全整備事業 西毛森林計画区(群馬県) 事業概要図



間伐作業
(安中市)



獣害防除
(多野郡上野村)



植付・獣害防除
(富岡市)



路網整備
(多野郡神流町)



下刈作業
(多野郡神流町)